

問題制作例
課題発表ガイドに記載している
・出題用途に適した計画となる『〇敷地周辺環境に配慮』
・出題用途を『計画する理由や目的(抱える課題も)』
上記二点をテーマとして文章を作成する。

出題用途 & 設計製図試験条件(7月課題発表掲載内容)
・出題用途【Step3〜条件設定】
〇敷地の周辺環境に配慮して計画する。
〇バリアフリー、省エネルギー、
二酸化炭素排出削減、セキュリティ等に配慮して
〇各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。
〇建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、
経済性に配慮して計画する。

本計画で最も重要なこと
・建築することになった経緯をイメージする
・『特に』部分を囲いmustと強調する

敷地形状および接道、周辺条件等は敷地図の通り
敷地の高低差有無と歩道の切り開き条件
用途地域、建蔽率の限度、容積率の限度
当課題のみ条件とする内容がある場合
電気、ガス及び上下水道は完備
地盤状況について
気候、積雪に対する配慮無し、その他設定条件

構造種別、大空間の屋根や車寄せの庇などを計画する場合
一部別構造や構造は自由
地上〇階建て又は階数自由、耐火建築物はmustにする
用途に合わせたバリアフリー法適合must
ユニバーサルデザイン等Best
その他、建築物に指定される条件があれば追記する。

敷地及び周辺条件の定番(毎年出題される内容)
と、その対策を覚えるとともに、定番の逆パターン等で出題された場合も想定して、逆パターン等に対応すべき点も覚えておく。

①-2 敷地情報整理
1:方位の確認(Nを〇で囲う)
2:道路幅員チェック(最小幅員を△で囲う)
3:各施設又は各方位から敷地への歩行者動線を最短距離で→で描く
※駅等の多数の歩行者が想定される⇄は3本分位の大きさを描く。
4:3の集中している箇所から、敷地長辺及び短辺それぞれ2/3の範囲を
利用者アプローチからコアの計画範囲「利用者コアゾーン」と想定して描く。
※いくつかのパターンがある→それぞれのパターンを別々に図示する
5:4の集中する歩行者動線→から離れた位置で道路に面する場所へ
車の動線→(管理・メンテ等)を設ける。車の動線→付近を「管理
コアゾーン」として描く。
※利用者Pと管理用Pを集中配置又は分散配置の2パターン検討、
利用者コアゾーン⇄HP管理者コアゾーン⇄SPからセンターコア
又は偏コア型のいずれかで都合の良い配置を進めていく。

設計課題 「庁舎」
I. 設計条件

この課題は、ある市街地で既存の庁舎(隣に建つ庁舎)の分館として、
災害応急対策活動の拠点となる庁舎を計画する。議会事務局等の機能を備え、
議会活動の円滑な運営と住民に開かれた議会施設からなる庁舎を計画する。
なお、本計画の用途は、傍聴席の規模及び、市に住む住民を対象にした
特定多数の傍聴者であることから、事務用途として扱うものとする。

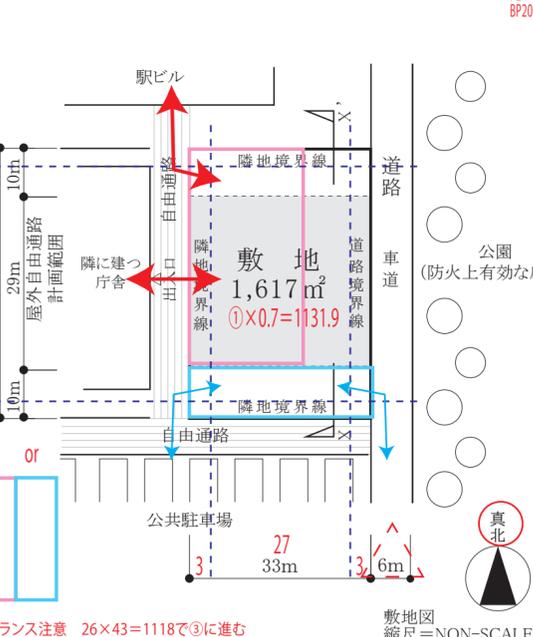
- 1. 敷地及び周辺条件
(1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」のとおりである。
(2) 敷地は平坦で、敷地と道路の路面の中心、隣地及び道路の反対側の敷地
には、高低差はない。また、歩道の切り開きは1か所当たり6mまで可能とする。
(3) 敷地及びその周辺は、第一種住居地域及び準防火地域に指定されている。
また、建蔽率の限度は70%(所定の加算を含む)、容積率の限度は200%で
ある。なお、用途地域における建築の制限は上記と別に考慮する。
これら以外に、地域、地区等及び特定行政庁による指定、許可等並びに
日影による中高層の建築物の高さの制限はない。
(4) 電気、ガス及び上下水道は完備している。
(5) 敷地は「地盤略断面図」のとおりである。
(6) 気候は温暖であり、積雪について特別な配慮はしなくてよい。また、
水害の危険はない地域だが、豪雨等に伴う浸水に配慮した計画とする。

- 2. 建築物
(1) 地上3階建て及び構造種別は自由とする。ただし、地階は設けない。
「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に規定する
「建築物移動等円滑化誘導基準」を満たすとともに、ユニバーサルデザ
インとすることが求められている。
(2) 基礎免震構造とする。ただし、それに変わる同等の性能を有する構造を
用いる場合は、「答案用紙I」に基礎免震構造に変わる構造として図示、
又は「答案用紙II」の裏面に安全性の根拠を記入する。
(3) 要求室等は、右表のとおりである。

- 3. その他の施設等
(1) 駐車場及び駐輪場は、次のとおり計画する。
① 来庁者の車椅子利用者用駐車区画を1台、優先駐車区画(思いやり
駐車区画)2台分設ける。なお、建築物内に設けてもよい。
② 来庁者用の駐車区画から建物出入口は、動線に配慮するとともに、
誰もが利用しやすい計画とする。
③ 職員や管理サービス等の駐車場は、南側の公共駐車場を利用する。
④ 駐輪場は20台計画する。なお、建築物内に設けてもよい。
また自由通路側は自転車の通行が不可とする。
(2) 屋外自由通路を、次のとおり計画する。
① 東側道路から西側隣に建つ庁舎のある自由通路を通り抜けが出来る
通路(最小幅員を4mとし、建築物を通り抜ける部分はピロティ形式等
とする。)
敷地の屋外自由通路計画範囲()内に設ける。
② 屋外自由通路から建物内へ直接出入りできる計画とする。

要求室等(下表の室等は、全て計画する。)

Table with 4 columns: 室名等, 特記事項, 床面積, 備考. Rows include: 開庁時間(9時~18時)までの時間帯は自由に入出可能とし、それ以外の時間帯は、通用用とする。、総合窓口、執務室、議場、傍聴席、議会事務局、ロビー、議会ギャラリー、委員会室、控室、正副議長室、災害対策本部室、秘書室、市長室、応接室、警備室、売店、カフェ、給水設備、必要消防設備、電気設備、空調室外機、エレベーター、PS、DS、EPS等を、適切に設ける。、採用した設備計画に応じて、機械室等を適切に設ける。、太陽光パネルを屋上に設置する。、その他必要な室等は、適切に設ける。、什器等を、適宜設ける。



- 毎年定番の条件に対して、
図面表現、補足を定型化しておく
5.作図手順5
-11特記事項と留意事項の補足 P112参照

- 4. 留意事項
(1) 構造計画については、次の点に留意する。
① 基礎構造については、地盤条件や経済性を踏まえ適切に計画する。
② 耐震性や経済性に配慮し、架構を計画する。
(2) 設備機器等の搬出入、更新及びメンテナンスに配慮する。
(3) 延焼ライン(建築物の延焼のおそれのある部分の位置)を記入する。必要に応じて、
延焼ライン及び防火区画(面積区画、堅穴区画、異種用途区画等)に要求される
所定の防火設備を適切に計画する。
(4) 地上に通じる2以上の直通階段を適切に計画する。必要に応じて、
「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。
(5) 計画に際し、「建築基準法第56条第7項(天窓率)」、「建築基準法施行
令第5章の3(避難上の安全の検証)」等の規定を適用する場合には、
「答案用紙II」の裏面にその計算過程及び結果を記入する。

II. 要求図書
答案用紙I及び答案用紙IIの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい)
に、黒鉛筆を用いて記入する。

- 1. 要求図面(答案用紙Iに記入)
「I. 設計条件」の要求等を満足したことを明示したうえで、下表に示す
事項を図示又は記入して、図面を作成する。(フリーハンドでもよい。)
ほかにも計画上で工夫、配慮した事項については、図面上に什器等を記入
して表現し、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

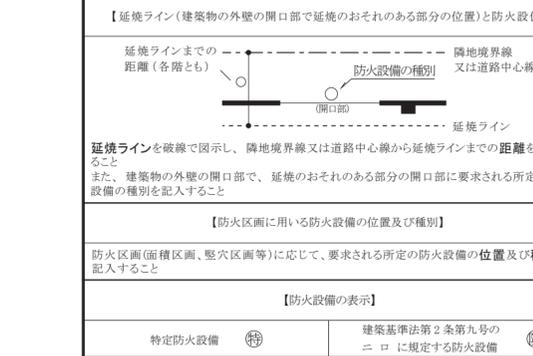
Table with 2 columns: 図面及び縮尺, 特記事項. Rows include: (1) 1階平面図・配置図 1/200, (2) 2階平面図 1/200, (3) 3階平面図 1/200, (4) 南一北断面図 1/200, (5) 2階梁伏図 1/400. Each row contains specific drawing requirements and notes.

- 2. 面積表(答案用紙Iに記入)
(1) 建築面積及びその算定式を記入する。
(2) 床面積の合計及び各階の床面積の算定式を記入する。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー(外気に有効に
開放されているものに限り。)、屋外階段及び屋上設備スペースは、床面積に算入し
ない。ただし、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(駐車場、駐輪場、設備スペース
等)については、床面積に算入する。

- (1) 建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、経済性に配慮して計画する。
〇構造種別に応じた架構形式及びスパン割りを適切に計画するとともに、適切な断面寸法の部材を計画する。
(2) 〇空調調設備、給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。 →搬出入、更新及びメンテナンス
(4) 〇各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。 →重複距離、敷地内避難経路
(5)法適合確認:延焼ライン及び防火区画 (5)法適合確認:天窓率及び避難上の安全の検証適用

- 3. 計画の要点等(答案用紙IIに記入)
要求室図面では表わせない建築物の計画上の要点等について、次の(1)~(5)を
具体的に記述又は図示する。(フリーハンドでもよい。)
(1) 庁舎の計画に於いて、長寿命化や低炭素社会の実現等の社会的要請に応える
「施設水準の向上」として下記①から④で考慮したこと
①防災機能の強化
②施設の長寿命化
③可変性の確保
④省エネルギー・省資源、建材や景観
(2) 基礎免震工法のクアランス等における、出入口(来庁者が歩行する部分)部分と
その他部分で配慮したこと(建築物の構造が判る各寸法又はサイズを記載した断面詳細
(イメージ図等でも構わない)、敷地側(地球側)の構造(外構)、建物側の構造(EXP.)や
カバー、片持ちスラブ並びに免震装置)が判るようにして答える
(3) 執務室などの窓、執務スペース、バックスペースにおいて、配慮又は工夫したこと
①空間性能
②環境・設備性能
(4) 議場における構造計画、設備計画(空調及び換気含む)で平面又は伏図、断面等の
略図で示し、構造及び設備計画で配慮したことを図中で答える
①採用した空調機器と位置
②天井や床等の配管経路
③大地震等の自然災害が発生した際に、ライフラインの復旧までに建築物の機能が維持
できる計画として考慮したこと(3つ以上)

防火設備の凡例
柱、壁、開口部等を明確に作図し、防火設備の表示(特・防)については、必要な
箇所に全て記入すること



【建築物の計画に当たっての留意事項】※課題発表(令和7年7月25日)内容を転記※
〇敷地の周辺環境に配慮して計画する。
〇バリアフリー、省エネルギー、二酸化炭素排出削減、セキュリティ等に配慮して計画する。
〇各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。
※大地震等の自然災害が発生した際に、建築物の機能が維持できる構造計画とする。
〇建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、経済性に配慮して計画する。
〇構造種別に応じて架構形式及びスパン割りを適切に計画するとともに、適切な断面寸法の
部材を計画する。
〇空調調設備、給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。

本資料の著作権は
一級建築士事務所プラスデザイン株式会社に帰属しています。
当社受講生に対して受講を目的とする限りで
許されているものであり、
これをインターネット開示や第三者に対して
譲渡・貸与等をするのは、有償無償問わず禁止しています。
資料の一部又は全部を無断で使用、転載等を行う事を
禁止しております。

Table with 2 columns: 受験番号, 氏名. Includes a '注意事項' section: 『試験問題』を十分に理解したうえで、解答してください。なお、建築基準法令や要求図書、主要な要求室等の計画等の設計と条件に対して解答内容が不十分な場合には、『設計条件・要求図書等に対する重大な不適合』等と判断されます。また、適用すべき法令については、令和7年4月1日現在において施行されているものとします。

問題用紙1回目の読み取りでは、
1.設計条件
1.敷地及び周辺条件
2.建築物
から、周辺及び敷地環境に於いて、
計画で求められていることを確認
→敷地図及び(3)要求室に情報整理する。

- 1:問題用紙は小声で音読する。
2:線引きマーカーは必要箇所のみにする
3:計画の要点で分ける範囲は、効果のある
計画手法をキーワード抽出しておく

Point:
文章を読み、拡大解釈せずに理解する
図や文章に記載されている理由を推測する

Point:
敷地及び周辺条件は、例年の条件と
異なる点を重点的に検討する。

Point:
(3)要求室の1回目読み取り時に、
2-3エスキス工程までに不要な情報を
線引きしたり、電卓を使用しない。

Point:
3.その他の施設等の施設名、設置数
は(3)要求室の関連する室付近に
強調してメモ書きする。

Point:
II 要求図書、2面積表は例年の条件
と異なる点や断面図の切断方向等
問題ごとに変わる点を線引き

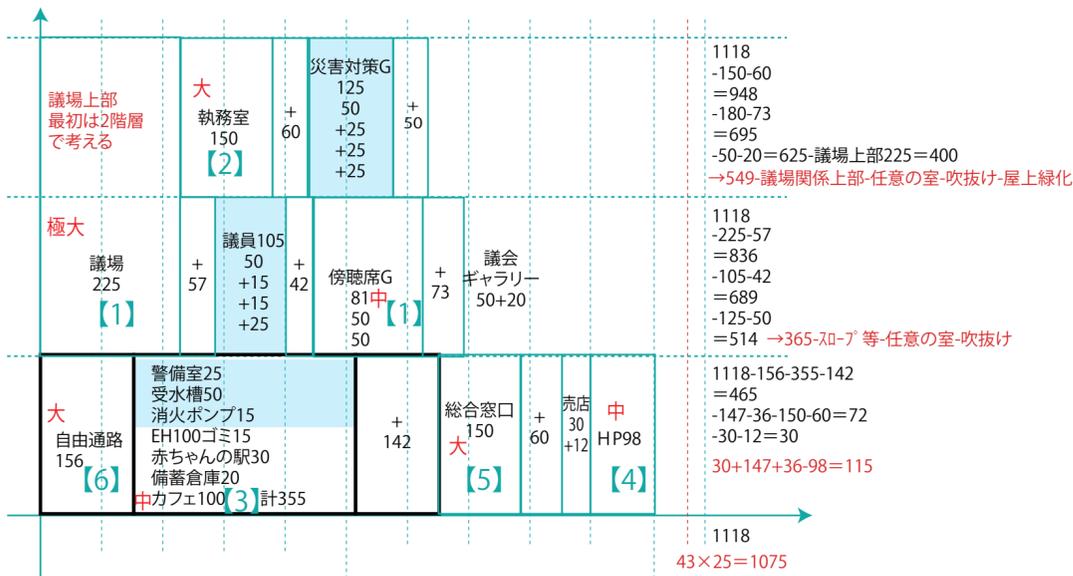
問題用紙に書いている内容は、
常に「一字一句全て」確認すること

定番でも『確認要』
ピロティ面積の算出について等
一回目の読み取りを
速く読むタイムトライアルと勘違いせず
しっかりと理解するように確認していけば
間違わない。

問題用紙の読み取り1回目は
じっくりと一回
又はレポートして二回確認する
『15分間』は1回目読み取りに使う

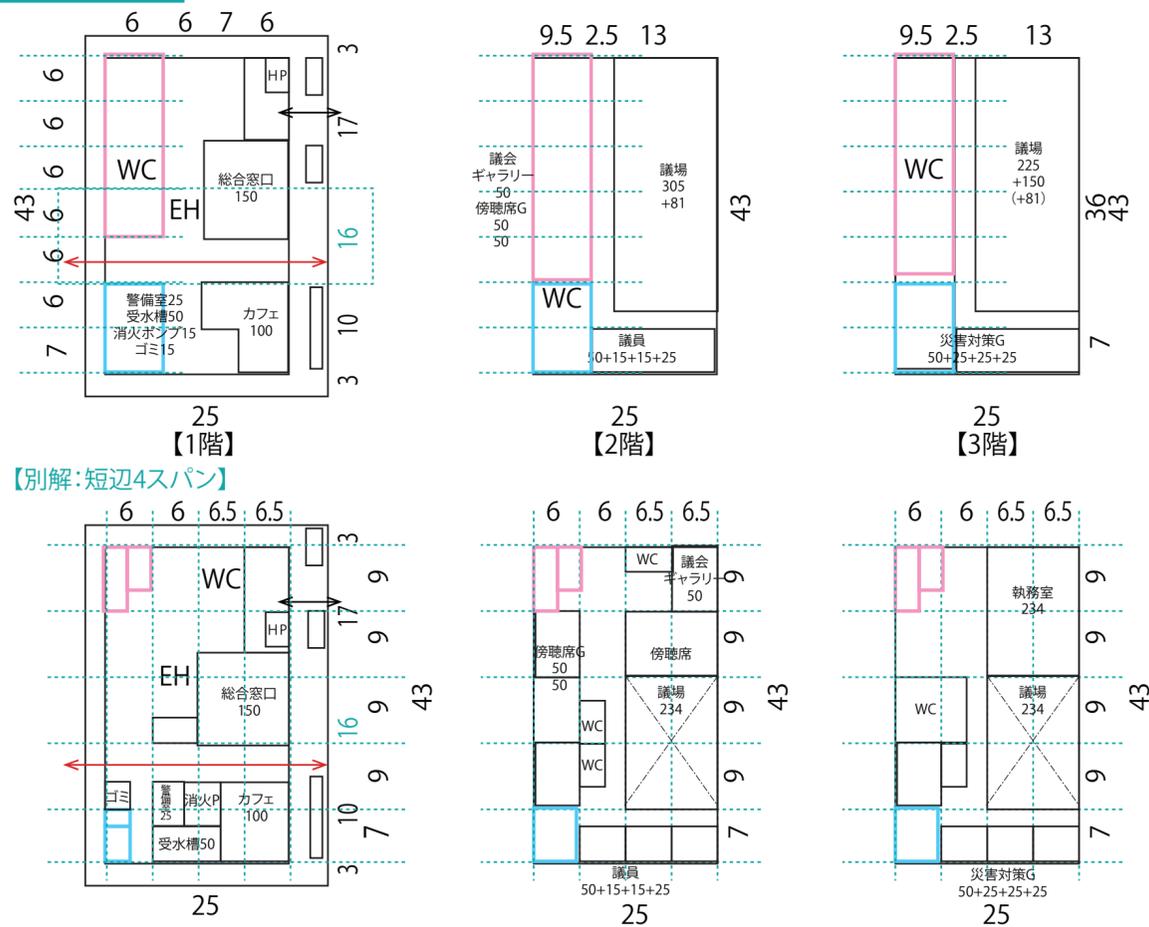
Step2 ③ 各階各要求室等の配置検討

第一種住居事務所扱い3000㎡以内 要求室合計=1380×2→2760以内
 1118×3-156(自由通路)-2760=438減らす→建物削る又は吹抜け等を設ける

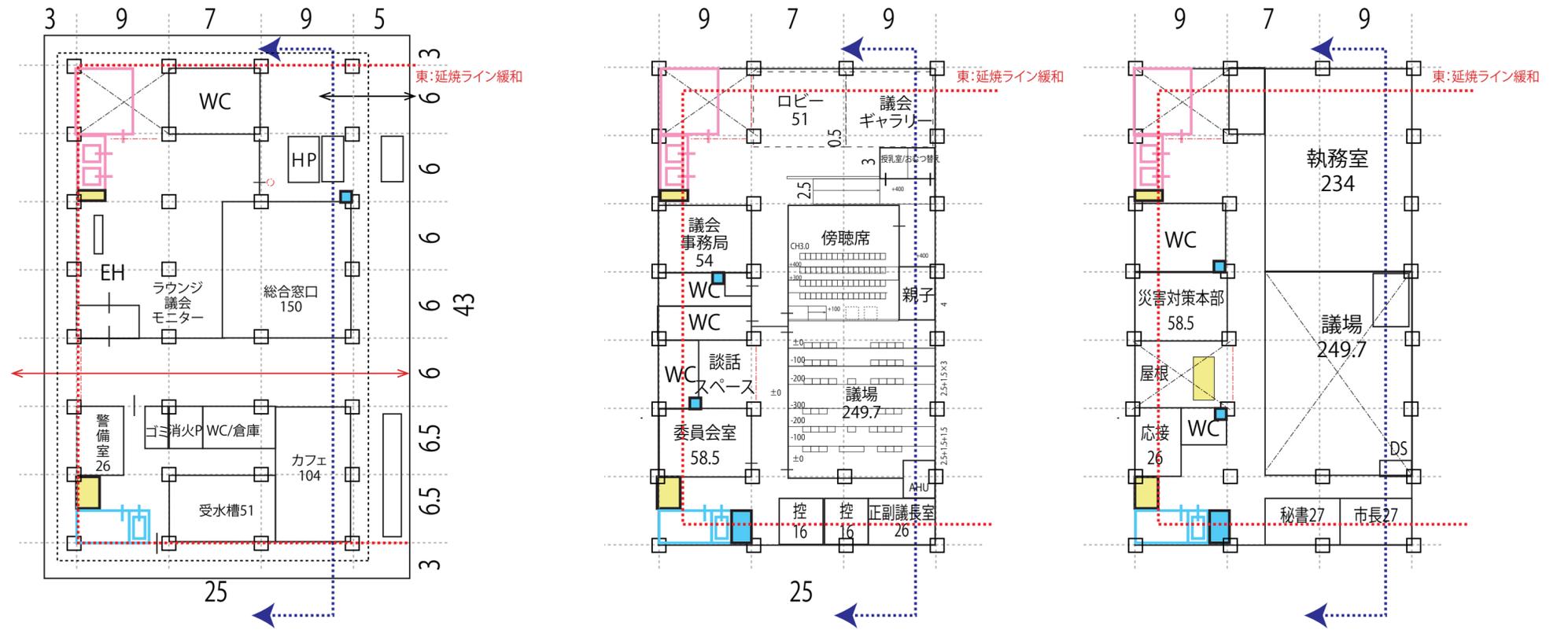


短辺26→25 東側離隔距離5m(水平クリアランス確保)→P2(上部庇)+B P外HP建物内98

Step3 1/1000ゾーニング



Step4 1/400プランニング

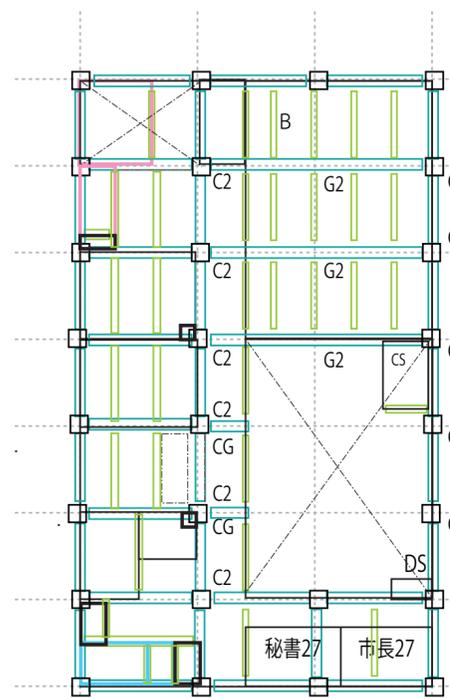


建築面積:25×43=1075

1階床面積:25×43-25×6-2×2=921

2階床面積:25×43-4×6=1051

3階床面積:25×43-13.5×18.5-9×6-4×6=747.3
 計2719.3㎡



- C1:柱①750×750
- C2:柱②800×800
- G1:大梁500×800
- G2:PC梁500×1100
- CG:片持ち梁500×800
- B:小梁300×600
- S:スラブ t 200
- CS:片持ちスラブ t 120

